

NEWS LETTER

2024. Vol.5
水無月号



HAPPY PRIDE! 今月6月は、プライド月間・・・世界中で様々なLGBTQ+イベントやキャンペーンが行われます。月間中、6月18日に、タイで同性婚を認める法案が可決! というニュースが飛び込んできました! 台湾・ネパールに続き、アジアで3番目、(東アジアで1番目) おめでとうございます! 日本はG7で唯一、結婚の平等がすべての人に保障されていない国です。必ずや、後に続きましょう!



・・・ここ最近のLGBT関連の他の喜ばしいニュースに、以下のようなものがあります。

- ★男性から性別変更したトランス女性が、男性時代に凍結保存していた自分の精子を使ってパートナー女性との間に生まれた実子との間に、東京家裁では認められなかった親子関係が、6月21日、最高裁で認められました!
- ★名古屋家裁で、同性パートナーと戸籍上同じ苗字に変更する裁判を起こしていた30代男性の訴えが認められたことが明らかとなりました。裁判長は二人を「社会通念上、夫婦と同様」と判断しました。
- ★5月2日、長崎県大村市が、同性カップルに対し続柄欄に「夫(未届)」と記載した住民票を発行し、全国より「現場が市民に寄り添って対応した」との好評価が寄せられ、現在、他の複数の自治体も同様の対応を検討中です。このように司法の判断・行政の現場で多様な家族のあり方を尊重する姿勢が、数年前より確実に増えてきたことは、大変喜ばしいことです。
- ★4月19日～21日 東京レインボープライド (TRP) が日本のプライドパレードとして30周年を迎えました。今年は世界のハイブランドのLVMH (エルブイエムアッシュー モエ・ヘネシー・ルイ・ヴィトン) も初めてスポンサーに加わり、協賛する国内外の企業や団体も300を越えました。当会の会員有志も、パレードに元気に参加しました。TRP2024のテーマは「**変わるまで、あきらめない**」でした。調布LGBT&アライの会も、変わるまであきらめず、毎月の活動・仲間づくりを、楽しみながら継続していきます。



2024年1月から6月まで、当会は以下の講座を実施しました。※感想文の一部を、当会ホームページに掲載しています。

性と生き方の多様性講座
「ルッキズムと法」
2024年1月8日(月祝)
講師 **弁護士 立石結夏氏**
11年弁護士登録。早稲田大学法学部・琉球大学大学院法務研究科卒。新八重洲法律事務所所属。2011年よりセクシュアルマイノリティの方々の法務実務に携わる。第一東京弁護士会・性の多様性理解促進PT座長、NPO法人アカー協力弁護士、NPO法人東京レインボープライド監事。

性と生き方の多様性講座
「ALLYになりたい」
アライ
2024年2月3日(土)
講師 **小島あゆみ氏**
アライとは 性的マイノリティの仲間、味方のことです。日本で初めて「ALLY」のワードをタイトルにつけた「ALLYアライになりたい」(かもがわ出版)の著者。同性婚裁判傍聴、アライ講座など、積極的に活動中。また不登校の子ども達に「こぼ」の個別指導もしている。
講師 **新生光氏(ひかるん)**
ALLYES(アライエス)代表。15年前、戸籍の性別を変更。ALLYに関する電子書籍を2冊発売。全国のプライドパレードに参加したりSNS発信を通してALLY1000万人PJを遂行中。

性と生き方の多様性講座
「にじいろ家族の日常」
2024年3月3日(日)
講師 **まゆさん そらたろさん**
子育てもしている/子育てもしたいLGBTを中心に、その周辺を緩やかにつなぐ団体「にじいろかぞく」から講師お二人をお招きし、様々なお話を伺います。

↑1月は弁護士の立石結夏さんによる、「ルッキズムと法」でした。ルッキズムについてこれほど詳しく系統だった内容の講座は新鮮で、目から鱗でした。

↑2月は当会の小島あゆみさんと、アライエスの新生光さん、お二人の講師でした。アライ1000万人PJや、「アライは友達」のフレーズが心に残りました!

↑3月は 子育てフレンドリーな団体ににじいろかぞくさんからお二人の講師をお迎えしました。4人のお子様を里親として育てたお話など、大変貴重な回でした!

性と生き方の多様性講座
「トランスジェンダー『問題』」
2024年4月7日(日)
講師 **高井ゆと里氏**
哲学研究者。研究倫理学者。群馬大学情報学部准教授。ノンバイナリー当事者。共著『トランスジェンダー入門』翻訳『トランスジェンダー問題』最新号『トランスジェンダーと性別変更 これまでとこれから』など。

性と生き方の多様性講座
「ポジティブなコミュニケーション&シンキングで ALLY中のALLYに！」
2024年5月12日(日)
講師 **あんず氏**
女装子 保育士 女装活動を通し、みんながみんなを尊重できる世の中を目指し「JSK会」を2019年に発足
講師 **坂井未夢氏**
当会副代表 主婦 ALLYESの多摩地区リーダー JADP認定メンタル心理カウンセラー

性と生き方の多様性講座
「当事者国会議員から見た、LGBTQ+と政治のいま」
令和6年6月15日(土)
講師 **石川大我議員**
立憲民主党 参議院議員 前豊島区議会議員(2期)
1974年、豊島区生まれ 公共経営修士(専門職) 2011年豊島区議会議員に初当選。日本において初めてのオープンゲイの議員として知られる。

↑4月は会員からの熱烈な要望により、群馬大の高井ゆと里先生のご登壇でした。胸に迫る圧巻の講座に、参加者皆が先生のファンに!

↑5月は多様な性表現を体現する、底抜けに明るい女装子のあんずちゃんと当会の坂井未夢さんによる、心温まるひと時でした。

↑6月は参議院委員会で連日ご活躍中の石川大我議員による講座でした。当事者国会議員ならではのパワフルな内容でした!

講座は毎月どなたでも無料で参加でき、10日間の後日限定配信を視聴できます。お申込みは ally2021@chofulgbt.com まで!

多様性Q&Aあれこれ

Q 話すことに怖気づき、もやもやします((+_+))

LGBTQの方に限らず、誰に対しても、なのですが、私の発する言葉に、『マジョリティーゆえの意図しない差別や偏見・デリカシーの無さ』に当たることが含まれていないか、が気になって話すことを諦めてしまうことに、もやもやしています。自分の気持ちにぴったりの言葉を探しているうちに会話のタイミングを逃して言えないでしまったり、逆に焦って発してしまった言葉でうまく伝えられなかった、誤解されたのではないかと後悔する事も多いです。それだけでなく会話や対話にかけられる時間は多くなく、少ない時間の中で相手の気持ちを知りたいし私の気持ちも知って貰いたいのに！うまく聞くことができず伝えられない自分をもどかしく思っています。うまく言えませんが、私は人が好きです。いろいろな方とお互いを理解し合いたいし、そのための努力をしたいです。私の望みは『誰もが自分らしくいられる社会』になることです。『すべての人が自分らしく、生きやすい社会を目指し、自分たちができるところから、活動をする。』という調布LGBT&アライの会の思いに賛同して一緒に活動していきたいと思っています。(会員S)

A 対話が拓く未来を信じ、トライ&エラーを恐れずに繰り返し、一歩ずつレベルアップしていきましょう

先日、当会の集まりで、ミスジェンダリング(本人が自認する性別とは異なる接し方をする事)と言う失敗が起きました。生まれた時に割り当てられた性別は男性だが、外見は中性的な雰囲気を持つ、ノンバイナリーのAさん(仮)に対し、別の方が対話の中でAさんを「彼」と言う呼称で呼びました。

服装の悩みについて語っていたAさんは、多くの人が参加している場で「彼」と呼ばれたことは、実に遺憾な事だったと、後で私に伝えてくれました。Aさんは「彼」と呼ばれたことでおそらく、それまで皆に頑張ってシェアしてくださっていた、自分の服装に関する悩みを全く理解してもらえていないように感じたのではないかと推測し、私は何とも言えない気持ちになりました。そしてつい「彼」と呼んだ方も、おそらくAさんを傷つけるつもりは全くなかったことも推測できました。私は会の代表としてAさんに謝罪し、仲間内にもフィードバックをし、こういうことが起きないようにするにはどうしたらいいのだろう、と数日間、考えていました。日本語には英語のような「They」※という代名詞がないので、どんな呼び方が適切なだろうと…。そして別のLGBT関連の集まりで、ある当事者の方にこの件を相談したところ「彼」「彼女の」呼称を頻発する人のそばには私はなるべく近寄らないようにしている、とその方はおっしゃいました。…ああ、これが答えだなと思いました。「彼」「彼女」という呼称が、世の中に苦痛な人もいる以上、今後、その呼称はなるべく日常生活上使わないようにしよう。呼ぶ際は「〇〇さん」「あちらの方」「そちらの方」のようにしよう、つい「彼」「彼女」が出てしまわないように気を付けよう、と私は肝に銘じたのです。…文章にしてしまえば当たり前の何気ないことですが、このトラブルが起きたきっかけも、そして結論にたどり着いたのも同じく「対話」でした。対話で生まれた失敗は、対話で解決の糸口が見つかります。数をこなすことで、一歩ずつレベルアップしていけます。性の多様性に関するリテラシーは、一朝一夕では身につけません。そのために、当会の、無料で参加できる講座やお話会等を是非、これからも活用してください。一緒に歩いていきましょう。(棚木)

(※They…ノンバイナリーの代名詞 三人称単数)

2024年2月17日に、調布市ではパートナーシップ宣誓制度1周年を迎え、阿部知代さん(フジテレビ報道局)による記念トークイベントが行われ、LGBTQ+支援などのお話で盛り上がりました。当会の副代表の坂井未夢さんが対談ゲストを務めました。盛会でした!



「やりたい!」が道をひらく
—自分らしく、あなたらしく

当会代表の棚木は、東京都助産師会として2019年よりTRPパレードに参加し、いのちの平等をアピールしてまいりましたが、2024年は初の医療従事者合同チーム「Medical Pride」を結成しました。医療従事者5団体・東京都助産師会、



にじいろドクターズ、にじいろリハネット、民医連SOGIEコミュニティ、まるっとインクルーシブ病院の美装プロジェクト…と共に4月21日東京レインボープライドパレードに参加しました。医療従事者と仲間、家族、当事者、アライ、飛び入り参加の方等、多くの出会いがありました!

ありがとうございます!

昨年に引き続き調布市社会福祉協議会令和6年度調布市地域福祉活動支援事業の助成が認められました! 頑張ります!

福祉向上のため、有効利用いたします!



ご紹介いたします

石川県能美市のALLYドクター 芳珠記念病院 内科 介護医療院担当 青島敬二先生は、白衣にアライバッジを付けるほか、外来の医師紹介の案内板にもこのように→レインボーステッカーを貼り、当事者さんに寄り添う姿勢を示されています。LGBT院内勉強会も企画されているそうです。心強い存在です!

本日の担当医師



内科

〇〇〇 (医師名)



【会員募集中】当会は、毎月様々な分野の専門家の方を講師にお招きし実施している講座と、毎月市内のふれあいの家で開催しているにじいろお話会の2つが 主な活動です。会費は無料です。当事者の方、アライの方、多様性に関心のある方、仲間になりませんか?



2024年6月23日発行/調布LGBT&アライの会 事務局/〒182-0011東京都調布市深大寺北町4-13-51 マザリーズ助産院内 棚木めぐみ 090-3535-9227